

国指定

所在地：味間奥

木造増長天立像・木造持国天立像

もくぞうぞうちようてんりゅうぞう

もくぞうじこくてんりゅうぞう

右手に戟を持ち、左手は開いて腰にあてる。面相は歯を噛みしめ目を見開き、激しい怒りを表す。甲の肩と腹前に獅噛しかみがある。両手先、足下の邪鬼は後補によるものである。丹波地方における神将像の傑作である。

大国寺本堂所在。
ヒノキ造。
像高158cm。



木造増長天立像

右手を腰に置き袖を上方に翻し、左手には戟を執り、足下には後補の邪鬼を踏む。甲は両肩と腹前に獅噛があり、平安時代神将像の特徴である誇張された憤怒の形相が表現される。躍動感に溢れた優品である。

大国寺本堂所在。
ヒノキ造。
像高154cm。



木造持国天立像